

(別紙4(2))

事業所名 グループハウス愛

作成日: 平成 23年 2月 8日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	<b>(事業所と地域とおつきあい)</b> 新興住宅街であり地域との交流が難しいなか、行事の案内状を出したりして交流の呼びかけに努めているが、住民参加は少ない。また、学区の行事への参加も「時間帯や開催地への移動手段・方法などで実施が難しい状況にある	家族やボランティアの活用などを図り、交流を促進する。	外部講師を招いての職員研修会「認知症学習会・救急救命教室等」への地域住民参加。家族やボランティアの理解・協力を求める取り組みの強化。	6ヶ月
2	4	<b>(運営推進会議を活かした取り組み)</b> 運営推進会議は「概ね2ヶ月に1回」という行政サイドの方向性が打ち出されているが、当ホームでは3ヶ月に1度の開催となっている。委員の日程調整もあり委員会での議論でも、3ヶ月が限界との意見が多数を占める。また、一般職員の参加織り組は各フロアから1名ずつの参加に努めている。	開催頻度を2ヶ月に1度とするよう協議を続ける。	次回平成23年4月16日の会議において、再度、議題として委員に諮る。	3ヶ月
3	6	<b>(身体拘束をしないケアの実践)</b> 施設前が交通量の多い市道に面しているため、各ユニットの出入口と、ホーム玄関に鍵を掛けてある。	各ユニットの出入口の施錠について、最大限の解錠状態を確保する。	スタッフルームに職員がいる場合は施錠しない。	6ヶ月
4	10	<b>(運営に関する利用者、家族等意見の反映)</b> 意見箱は各フロアに設置されているが、投函は無い。家族の来所時には家族の意見を、また、利用者からは日常的に「生活の場面場面」で様々な意見を頂き、職員会議や運営推進会議等で協議し、ハウス運営に反映させている。	利用者、家族等意見を反映した運営の実践	投書箱の設置場所の検討(投書行為が第三者に知られない状況の確保等)。ハウスPR誌や家族アンケートでの意見収集等。家族会設立に向けた取り組みの推進(運営推進会議での議論を踏まえて)	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。